

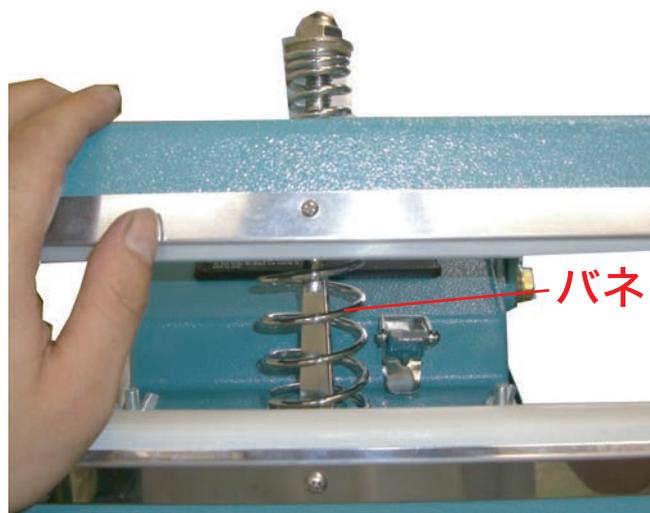
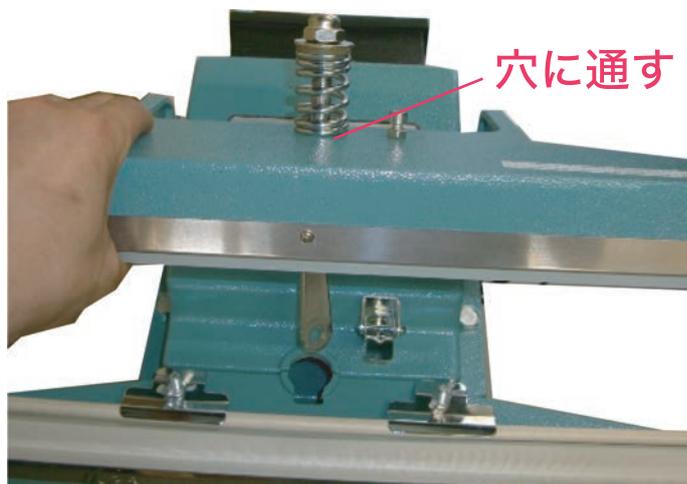
シール機 組み立て方 1

PFS-352JJ



1. 土台と柱と頭を組み立てる。

2. 写真①の部品を 2つにばらし、頭部分の穴に通します。



3. 大きいバネを通す。

シール機 組み立て方 2

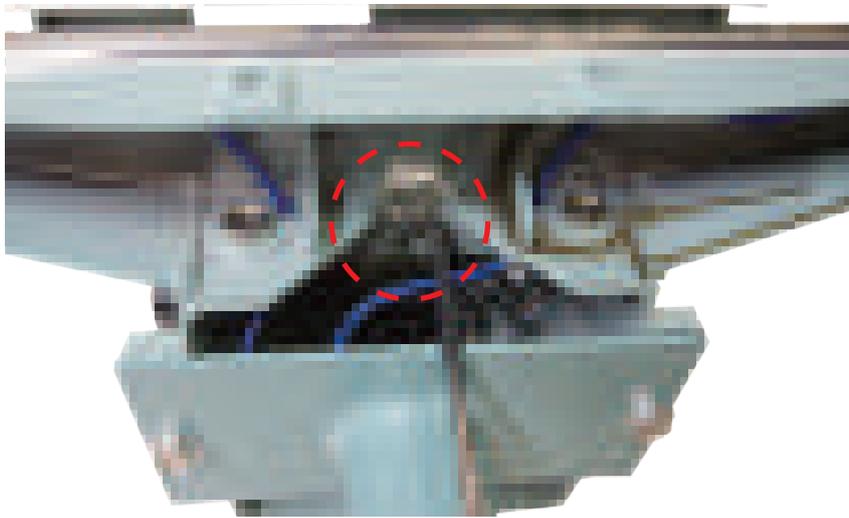
PFS-351

PFS-451

PFS-601

PFS-352JJ

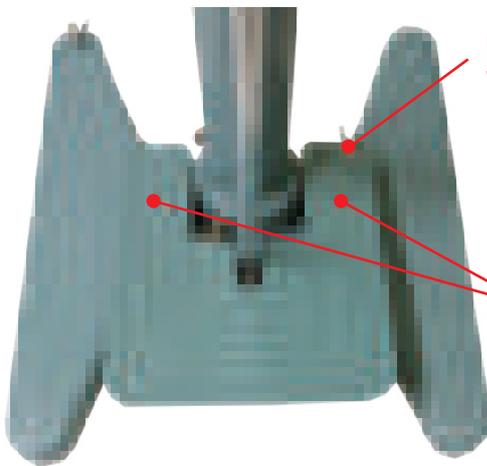
4. 2 で穴に通した部分の先端に、棒のフックを通す。



棒のフック

棒の下側

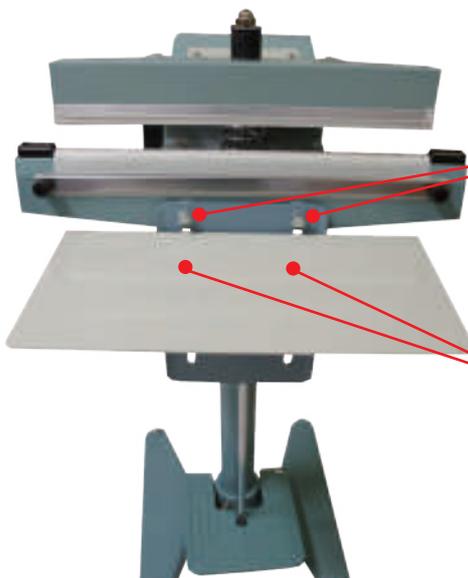
5. 棒の下側とペダルが組み合わさるように、ペダルを取り付ける。



踏みやすい位置に合わせる。

先にボルトを外して、
ペダルを置いてボルトを
再度締める。

6. 荷台を取り付けて、完成です。



ボルト 2つ

裏側にボルト 2つ

シール機 組み立て方 3

PFS-352JJ



図のように、きれいにシールできない場合、圧着する圧力が弱いことが考えられます。下記の通りに調整してください。



ねじ山が5、6センチがちょうど良いです。きれいにシールできない場合はもっと回してください。

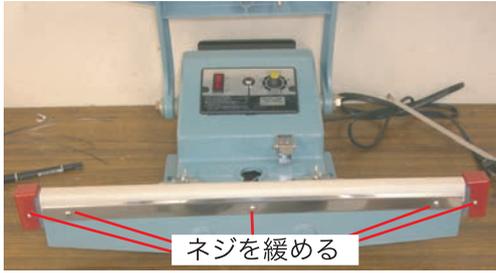
ねじを回してシール圧を調整する。

踏みやすい位置にペダルの高さを調整する。

注意事項

- ・シールランプ消灯後、2秒以上踏み続けてください。
- ・連続で使用する場合、本体が異常に熱くなってきたら、30分以上休ませてください。

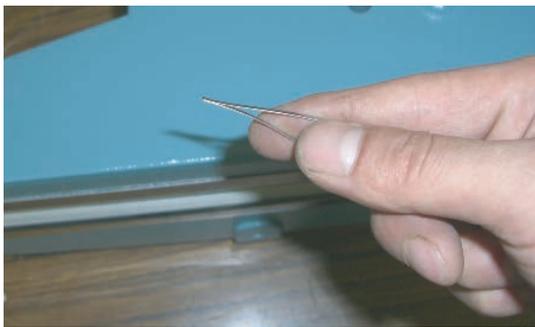
足踏み式シール機 PFS シリーズのヒーター線の交換のやり方 PFS-352JJ



①ネジを5箇所緩めます。(完全に取り外さない方が良いでしょう。)



②赤いカバーを外し、ヒーター線が止まっているネジ(片側2個)を緩めます。(＃1のドライバーを使ってください。)



③ヒーター線を用意します。ヒーター線は長めにしていますが、ちょうど良い長さに切るのではなく、折り込んでください。(最低2センチは折り込んでください。ヒーター線は端が切れやすいので、端を2重にすることにより、長持ちします。)



④ヒーター線の片側を②で外した場所に止めます。



⑤両側のつめを写真のように立てます。



⑥両側のつめを立てたまま、もう片方の金具のネジを締め、固定します。



⑦つめを元に戻すと、ヒーター線がピンと張り、①で外した赤いカバーを付けて、完了です。